

新型コロナウイルス感染症の自費検査に係る見解

令和2年12月24日
岩手県新型コロナウイルス
感染症対策専門委員会

1 趣旨

PCR検査は、新型コロナウイルス感染症の患者等の発見に有用であり、多くの県民が検査を受け、感染状況が確認されることは科学的にも意義のあることと考えられる。

一方、PCR検査は検体採取時点での感染状況を示すものであり、結果が陰性であったとしても、感染早期（潜伏期間）のため検出されない可能性や、検体採取後の感染の可能性を否定できないことに留意する必要がある。

自費によるPCR検査に関しては、専門的な情報が十分とは言えないことから、次のとおり留意事項等について情報提供する。

2 留意事項等

(1) 自費によるPCR検査を受けようとする方へ

ア PCR検査単独での感染判断、特に感染の「否定」については、感染早期又は検体採取後の感染等のリスクを排除できないため、慎重に判断する必要がある。

イ 他者へのウイルス感染のリスクを低減するためには、PCR検査に加えて、十分な自己検疫（※）期間を設けることを推奨する。

※ 自己検疫：毎日の体温測定と記録により健康状態を把握するとともに、一定期間、外出の自粛等により他人との接触を必要最低限にすること。その目安は、検査又は会合等の前2週間及び検査又は会合等の後2週間であり、検査結果による変更は推奨しない。

ウ 年末年始期間中の集会、会合等については、特に、成人式等の集会後に二次的な会合や飲食等を伴う場合は、参集人数にかかわらず感染リスクが高まる場面の一つとされている。

したがって、生活面での十分な自己検疫を実施する、無防備な行動を厳に慎むなど自らの行動に細心の注意を払い、PCR検査の有無や結果にかかわらず、マスクの常時着用、体調不良時の外出自粛等の注意事項を遵守する必要がある。

(2) 自費によるPCR検査を提供する検査機関へ

PCR検査を受けようとする希望者に対し、検査に加えて十分な自己検疫期間を設けるよう告知することを推奨する。

(3) 集合イベントの主催者等へ

集合イベントの開催方式や詳細について、PCR検査の実施のみを拠り所として判断することには慎重な対応が必要である。